



2019年11月5日

各 位

会社名 スターゼン株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 中津瀨 健
 コード番号 8043 (東証第一部)
 問合せ先 経理本部長 相田 邦明
 (TEL 03 - 3471 - 5521)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	181,000	2,200	3,000	2,000	205.35
今回修正予想(B)	172,000	1,200	2,100	1,400	143.74
増減額(B-A)	9,000	1,000	900	600	-
増減率(%)	5.0	45.5	30.0	30.0	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	174,070	2,029	2,782	1,838	190.98

2. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	365,000	5,100	6,800	4,800	492.84
今回修正予想(B)	348,000	2,600	4,100	2,800	287.49
増減額(B-A)	17,000	2,500	2,700	2,000	-
増減率(%)	4.7	49.0	39.7	41.7	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	351,212	4,788	6,418	4,565	472.02

3. 修正の理由

2020年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、競争激化による販売苦戦により取扱数量が伸び悩み、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

利益につきましては、加工食品事業において製造コストが上昇したことや、コストの増加を販売価格に転嫁しきれなかったこと、さらには人件費及び物流費の上昇などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、前回予想を下回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、今後の見通しを検討した結果、引き続き厳しい事業環境が継続することが見込まれるため、売上高及び各段階利益について修正いたします。

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上